ＳＧＡ内の共有プール・メモリの自動配分
（ライブラリ・キャッシュ、ディクショナリ・キャッシュ、SQL 実行計画キャッシュ）
共有プールメモリ・サイズのチューニング

自動メモリ管理は、SGA と PGA の両方を自動管理
自動共有メモリ管理は、SGA だけを自動管理

SGA（システム・グローバル・エリア）内の共有プールとバッファ・プールのメモリは、アドバイス機能を使用して、使用解析計算を行い、最適化量を明示的に指定して割り当てることができる。
ただし、これは、SGA と PGA について自動メモリ管理、自動共有メモリ管理を行っていない場合に限ります

EMDC → ［ホーム］タブ → 関連リンク・セクション中の「アドバイザ・セントラル」
→ アドバイザ・セクションの中の「メモリー・アドバイザ」

メモリー・アドバイザ

自動メモリ管理 **無効** 有効化
合計メモリ・サイズ　　アドバイス
最大メモリ・サイズ

［SGA］タブ／［PGA］タブ

自動共有メモリ管理　**無効**　有効化
現行合計 SGA サイズ　512

共有プール	276MB	アドバイス
バッファキャッシュ	212MB	アドバイス
ラージプール	4MB	
Java プール	12MB	
その他	0MB	

最大 SGA サイズ　512

アドバイス ボタンをクリックすることにより、解析保存時間での関連変更とメモリ（ 共有プール ）サイズの関係（効率化予測）をグラフ化して可視化することができます。
この グラフが平らになる 最も少ないメモリ量が最適値と考えられる

共有プール（SGA 内）サイズの初期化パラメータ

初期化パラメータ
　　共有プール（SGA 内）サイズ：　SHARED_POOL_SIZE

共有プールの実使用量の調査

　共有プールは、ライブラリ・キャッシュ（プロシージャなどのライブラリのキャッシュ・データとディクショナリ・キャッシュ（オブジェクトの統計情報や実行計画）とセッション・データ（ユーザーの PGA 使用部分との関連を制御する部分）から構成されています。

　下記の３つのメモリの利用量の合計が、共有プール（ SGA の中の一部分 ）の実使用量である。

（１）DB オブジェクトによる共有メモリの使用分

```
select　sum( sharable_mem )　from　v$db_object_cache　;
```

（２）SQL エリア内の共有メモリの使用分

```
select　sum( sharable_mem )　from　v$sqlarea　;
```

（３）ユーザーが使用している共有メモリの使用分

```
select　sum( 250 * users_opening )　from　v$sqlarea　;
```

```
select　sum( sharable_mem )　"共有プール"　from　v$db_object_cache
union　all
select　sum( sharable_mem )　from　v$sqlarea
union　all
select　sum( 250 * users_opening )　from　v$sqlarea　;
```

共有プール	これは、実使用量
93868331	・・・ライブラリ・キャッシュ
57471077	・・・ディクショナリ・キャッシュ
66000	・・・セッション・データ
合計　151405408	